

雲北陵月報

No. 464

令和6年4月30日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

第29回中学校 第116回高等学校 入学式挙行

春の息吹が感じられる4月9日、令和6年度出雲北陵中学・高等学校入学式が挙行された。本年度は中学校27名、高等学校208名、合わせて235



学校長式辞

名の新生を迎えた。式では、始めに水谷厚志理事長・校長より入学が許可され、式辞の中で「まず何より学校生活の基本である



中学校新生代表
森山 駿太



高等学校新生代表
佐藤 陽菜

『勉強』について一生懸命取り組んで欲しい。』またネルソン・マンデラ氏、「夢や目標を持ち、その達成に向け、信念を持って努力する人であって欲しい。」という言葉が贈られた。続いて、新入生を代表し、中学校から森山駿太(大社小)、高等学校から佐藤陽菜(島大附中)がそれぞれ入学の決意を力強く宣誓した。当日は高等学校PTA会長の藤原大助様に祝辞をいただきと共に、多くの来賓の方々にご臨席を賜り、各方面より祝電・祝詞をいただき、新入生の門出を祝福していただいた。

入学を祝して



中学校副校長
菅田 修司

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは晴れて本校への入学を許可され、中学校57名、高等学校589名、合計646名の出雲北陵中学・高等学校の生徒の一員として新たなスタートを切るようになりました。心から歓迎致します。新入生の皆さんにとって、これから始まる学校生活が、目標を持ち、自己を磨き、友と切磋琢磨し合い高めあう学びの場であって欲しいと切に願っています。

さて、本校は水谷キワ初代校長により、明治42年、今市裁縫女学校として創立されて以来、今年115周年の節目を迎える歴史と伝統のある学校です。豊かな緑に恵まれた環境の中、校訓「柔しく(やさしく) 剛く(つよく)」は今なお受け継がれ、「周囲に対する敬愛の念」や「自分を律する心」を大切に勉学はもちろん、スポーツや芸術活動、国際交流も盛んです。

そのような校風の中、皆さんに伝えたいことが一つあります。それは「物事はやってみないとわからない」ということです。どんなに立派な目標を立て、成し遂げたいと強く願っても、それだけでは何も変化は起こりません。物は挑戦しなければ成長も、それにつながる学びすら得ることは出来ません。本校に脈々と流れる伝統は守るべきものであると同時に、挑戦し続けることは未来の伝統の一片を築くものでもあります。臆せず挑戦しましょう。

卓球部

県勢初の全国制覇!

令和5年度第51回全国高等学校選抜卓球大会
3月21~24日
於 山形県総合運動公園体育館

- 〔男子団体〕
- 予選リーグ
- 本校 3-0 東福岡(福岡)
- 本校 3-10 高田(三重)
- 〔決勝トーナメント〕
- 1回戦 本校 3-10 北科大(北海道)
- 準々決勝 本校 3-11 上宮(大阪)
- 準決勝 本校 3-10 遊学館(石川)
- 決勝 本校 3-10 希望が丘(福岡)

○大会総評
創部20年目の節目の年に悲願の初優勝を果たすことが出来た。予選リーグから厳しい試合の連続であったが、選手は持ち前の粘り強さを発揮して、幾度となく訪れた難局を乗り越えることが出来た。この成績に満足することなく、今後はインターハイでの優勝を目指して精進していきたい。遠路応援に駆けつけてくださった保護者の皆様方には心より御礼申し上げます。有難うございました。(顧問 古瀬泰之)



優勝に大きく貢献した肖駿駿 殊勲賞を受賞した小野泰和



悲願の全国大会初優勝を果たした団体戦メンバー

一年生担任挨拶

中学校



一年担任
村上 学

今年度は27名の新入生を迎えて、出雲北陵中学校が賑やかになってきたことを実感しています。既に何度かお話ししてきましたが、「互いの違いを受け入れ、敬意を持って人と接する」ことを大切にしたいと思っています。県外を含む、様々な学校から集まった学年です。協調性が高ければうまくいかないことが増えます。自分のわがままを通すのであれば、他の人のわがままも同じように通す必要があります。自分だけが特別なのではなく、クラス全員が一人ひとり特別な存在です。お互いに敬意がなければ、人間関係は育ちません。みんなで話し合って、誰一人置き去りにされることのないように、共通の目標、共通の着地点を探していきたいと思います。皆さんのこれからの成長を楽しみにしています。

高等学校



一年一組担任
畑 宗一郎

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。どんな決意をして皆さんは出雲北陵の門をくぐったのでしょうか。これからの3年間が充実するかどうかは、全て自分次第です。これから出会う仲間や教員が皆さんの人生にとってかけがえのない存在になることを期待しています。私は、これまで経験したことを生かして、皆さんの学校生活をサポートしていきたいと思っています。一緒に学んでいきましょう！



一年二組担任
酒井甲太郎

ご入学おめでとうございます。これからの高校生活に希望と期待、そして不安も感じていると思います。この新鮮な気持ちで忘れずに夢や目標に向かって挑戦していきましょう。「若い時に流さなかった汗は、歳を取った時の涙となる。」という言葉があります。挑戦や行動をしなかつたら、いつか後悔すると私は解釈しています。最初の一步を踏み出す勇気は、いつか振り返った時に、あの時に勇気を出して良かったと思えるような行動をしてください。しかし、挑戦した結果が成功だけとは限りません。むしろ失敗の方が多くかもしれません。失敗も経験し、それに挫折することなく大きく成長してくれることを願っています。勇気を持って挑戦する人を私は応援してまいります。



一年三組担任
福間 宣弘

入学おめでとうございます。新しい何かの始まりはいつも二つのことが付きまとうと思います。それは、「高校では是非こうしたい」といったような期待と「うまく出来るだろうか」のような不安です。今は後者の方が大きいかもしれません。しかし、時の流れと共に皆さんは成長し、出来なかつたことが出来るようになり、自分の成長に気づかなくとも、それはきっと周囲の人が教えてくれます。互いの成長を認め合えるクラスを共に築き上げていきましょう。



一年四組担任
多々納厚比古

ご入学おめでとうございます。これから3年間卒業する時に良い高校生活だつ

たと満足出来るような、充実した日々を送ってくださることを願っています。楽しむ時は思いっきり楽しみ、やるべき時は集中して取り組むように、けじめのある学校生活を送ってください。好きなことに熱中出来る期間は今しかありません。友達・勉強部活動、何でも良いので、没頭出来るもの一つ見つけてやりきって、没頭出来る一生懸命に頑張る皆さんの姿が見れることを楽しみにしています。



一年五組担任
菊地 勇樹

この度、5組特進コースの担任を務めさせていただきます。数学科の菊地勇樹です。昨年度までは東京都にある中高一貫校にて5年間、中学生を主に担当しました。今回、高校生ということで、生徒一人ひとりの夢や進路の実現に向けて直接的に指導に当たれることへの期待と高揚感が胸が一杯です。関東で27年間過ごす中で得た力を出雲北陵高校で還元し、生徒達自身が自らの手で未来を描いていくように、担任として最大限サポートしていきたく共に、日々自己研鑽に励む所存です。改めまして、今年度一年間、どうぞよろしくお願ひ致します。



一年六組担任
勝部美和子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから迎える高等学校の3年間は、自己形成の上で重要な時期です。目標をしっかりと持って、勉強や部活動に積極的に取り組んでいってください。3年間はあっという間に過ぎ去ります。日々を大切に、悔いの残らないよう何事も前向きに挑戦して欲しいと思います。6組は音楽や美術を志望するクラスです。同じ志を持った仲間達と共に切磋琢磨し、充実した高校生活を送られることを願っています。

新任紹介

事務局長



三浦 俊明

市役所を退職した後、ご縁をいただいた、本年度から水谷学園の事務局長に就任致しました。

初めどの学校という職場で、新たな経験にとまどうことも多くありますが、緑豊かで活気ある学園での仕事で、期待とやりがいを感じながら、新年度のスタートを切ったところで、

次世代を担う生徒の皆さんの学園生活がより良いものとなるよう、これまでの職務経験を生かして、しっかりサポートしていきたいと考えております。よろしくお願ひ致します。

教諭



菊地 勇樹
(教科：数学)

今年度から数学科教諭として着任しました菊地勇樹です。生まれてからこれまでの27年間、ずっと神奈川県で過ごしてきましたが、この度ご縁をいただき、出雲北陵高校で勤務することとなりました。東京都の中高一貫校にて5年の教員経験がありますが、出雲では生活経験が全くありません。今後は出雲北陵、出雲、島根のことを少しずつ知っていきながら、謙虚に一步一步成長していく所存です。一方で、関東で幼い頃から培ってきた力を、望ましい形で生徒達に還元出来たらとも思っております。日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

常勤講師



酒井甲太郎
(教科：保健体育)

今年度から保健体育科の常勤講師として着任しました酒井甲太郎です。出雲北



森倉りえこ
(教科：英語)

非常勤講師

今年度より事務員として着任致しました小村秋香と申します。昨年度まで出雲市役所の市民課に勤務しておりましたので、「見たことがあるかも?」という方もいらっしゃるかもしれません。秋香と書いて「あいか」と読みますので、ぜひ覚えて声をかけて下さるとうれしく思います。学校という場で働くのは初めてのためご迷惑をおかけすることもありますが、皆さんの学校生活がより良いものになるよう、日々努めて参ります。これからどうぞよろしくお願ひ致します。



小村 秋香

事務員

今年度から国語科の常勤講師として勤務致します金城ほのかと申します。出身は沖縄県ですが、大学進学をきっかけに県外に移り、3月に山口大学日本文学部を卒業致しました。大学では日本文学を専攻し、古典文学を研究するゼミに所属しておりました。大学で学んできた知識を生かして、生徒に国語の楽しさを伝えられる授業をしたいと考えております。教師として働くのは今年度が初めてですが、頑張つて参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



金城ほのか
(教科：国語)

陵高校の卒業生でもあります。青春時代の間に全力で駆け抜けた出雲北陵での経験が私の人生の土台でもあり、苦しい時も辛い時も乗り越える強さを与えていただいたと思っています。思い入れのある母校で働けることに感謝しながら、学んできたことや経験を伝えていけたらと思っております。精進して参りますのでよろしくお願ひ致します。

吹奏楽部

出雲市総合体育館オープニングイベント
3月23日
於 出雲市総合体育館(だんだんととアリーナ)
標記イベントに出演させていたただいた。広く新しい体育館で本校らしいステージを披露し、観客からは大きな拍手をいただいた。今後も「地域に愛されるバンド」を目指し変わらぬ精進していきたい。
(顧問 竹内康真)



なぎなた部

第19回全国高等学校なぎなた選抜大会
3月23・24日
於 伊丹スポーツセンター
(個人試合の部)
寺本春葉(34歳) 5位入賞
○大会総評
今大会は個人戦のみ出場。苦しい状況であったが、何とか5位入賞と結果を残すことが出来た。今後に向けては課題も多く、色々考えさせられる大会であった。次年度へ向け、普及と強化を両立しながら頑張りたい。応援有難うございました。
(顧問 井上美代)



女子ソフトテニス部

第58回全日本私立高等学校選抜ソフトテニス大会
3月25・26日
於 横浜国際プール
(出場ペア)
水永花音(25歳)・岡本涼香(25歳)
予選リーグ
本校 0-4 栃木県ペア
本校 4-3 福岡県ペア
1勝1敗 予選リーグ敗退
○大会総評
本校からは1ペアが出場した。高いレ

特別進学コース
春季進学勉強特訓



4月3・4日
今年度も本校を会場に「春季進学勉強特訓」を実施した。「特訓」に先立ち、大手予備校で東大・京大クラスを担当された、新1・2年、新3年生に分かれて、蔵下克哉先生に、新1・2年、新3年生に分かれて、大学入試の現状と新入試で求められる力について講演をしていただいた。「コロナにより社会が変化しており、より『自ら考えて行動する力』が必要になっていく。また、大学入試では、『学力の3要素(知識・技能・思考力・判断力・表現力)』が主体性・多様性・協働性)や、書く力が重要になり、読解力、思考力、論述力の重要性が高まっている」というお話に、生徒達は真剣な表情で聞き入っていた。その後2日に渡って朝から夕方までみっちり学習に取り組んだ。新学期に向けて意識の向上が感じられる有意義な「特訓」となった。
(顧問 金森 快)



バルで試合をすることが出来、今後目指すべきレベルを確認することが出来た。春からのシーズンに向けて、チーム一丸となって精進していきたい。

第22回進級展開催

3月23・24日
於 出雲文化伝承館縁結び交流館
本校では年度の終わりに美術・CGデザインコースと美術部による美術展を開催しており、昨年度も絵画、デザイン、映像、立体等、生徒の個性あふれる作品を展示した。会期中は多数のご来場を賜り、盛況のうちに終えることが出来た。この場を借りてお礼申しあげます。



令和6年度 学級担任

学年	主任	担任 等		学 級						
		正担	副担	1普通 (簿記)	2普通 (簿記・英演)	3普通 (英演)	4普通 (英演)	5特進	6芸術 (音・美)	
高1	篠原	正担	村上	畑宗	酒井	福間	多々納	菊地	勝部	
		副担	和田	佐々木	篠原	篠原	古瀬	黒崎	原田	
高2	尾添	主任	担任	学 級						
		正担	担任	1普通 (情報・看護)	2普通 (教養・保育)	3普通 (教養)	4普通 (進学)	5特進	6芸術 (音・美)	
高3	伊藤	正担	担任	金森	春日	松井	河原	柳樂	竹内	
		副担	担任	中川	田邊	中川	尾添	尾添	布野・高橋	
高3	伊藤	主任	担任	学 級						
		正担	担任	1普通 (情報・看護)	2普通 (教養・保育)	3普通 (教養)	4普通 (教養)	5普通 (進学)	6特進	7芸術 (音・美)
高3	伊藤	正担	担任	永瀬	椿	河野	今川	伊藤	遠藤	妹尾
		副担	担任	井上	金城	金城	泉	泉	中澤	石倉

